



2026年4月14日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス  
代表者名 代表取締役 中村 友哉  
(コード番号：402A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 折原 大吾  
(TEL. 03-6262-6105)

### 2026年5月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月14日開催の取締役会において、直近の業績の動向等を踏まえ、2025年8月13日に開示した2026年5月期通期（2025年6月1日～2026年5月31日）の業績予想（以下「前回発表予想」という。）を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 2026年5月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年6月1日～2026年5月31日）

	売上高	総収入 (Non-GAAP) *	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,646	百万円 4,123	百万円 △3,999	百万円 △3,876	百万円 △3,879	円 銭 △63.04
今回修正予想 (B)	2,500	3,000	△3,800	△3,700	△4,000	△64.97
増減額 (B-A)	△1,146	△1,123	199	176	△121	△1.93
増減率 (%)	△31.4	△27.2	-	-	-	-
(参考) 前期連結 実績 (C) (2025年5月期)	1,586	2,322	△2,495	△1,824	△1,950	△44.96
増減額 (B-C)	914	678	△1,305	△1,876	△2,050	△20.01
増減率 (%)	57.6	29.2	-	-	-	-

注記：総収入はNon-GAAP指標であり、投資家が当社グループの業績を評価する上で、当社が有用と考える財務指標であります。政府系機関等からの補助金収入を売上高に加算して算出しております。

## 2. 業績予想修正の理由

売上高につきましては、AxelLiner事業の主要プロジェクトにおける売上原価の減少に伴う売上高予想の減少及び「AxelLiner Laboratory」（以下「AL Lab」という。）における契約組成タイミングの遅れ、AxelGlobe事業の一部海外案件の組成中止を主な要因として、前回発表予想を下方修正する見通しとなりました。

AxelLiner事業の主要プロジェクトである国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）からの委託試験研究については、履行義務の充足に係る進捗度を原価比例法により見積り売上を計上しております。当該案件において、2026年5月期（当期）に予定していた一部の高額部材の納入が2027年5月期（翌期）となる見通しとなったことにより売上原価が減少する見込みとなり、売上高予想が減少しましたが、これは納入時期の変更によるもので受注金額に変更はないため、翌期には概ね回復できる見通しです。また、AxelLiner事業のAL Labについては、当期に見込んでいた一部案件の組成及び契約締結が翌期以降に持ち越しとなる見通しとなったことから売上高予想が減少することとなりました。なお、現在公表しておりますAxelLiner事業の打上げ予定に変更はございません。

AxelGlobe事業においては、国内事業については防衛省の「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」の開始など想定通り進捗し予想を上回る見込みである一方で、一部の海外案件につき案件組成が中止となったことから売上高予想が減少することとなりました。

セグメント別内訳：

	AxelLiner事業			AxelGlobe事業		
	売上高	売上原価	売上総利益	売上高	売上原価	売上総利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,467	百万円 2,247	百万円 220	百万円 1,179	百万円 733	百万円 446
今回修正予想 (B)	1,520	1,380	140	980	350	630
増減額 (B-A)	△947	△867	△80	△199	△383	184
増減率 (%)	△38.4	△38.6	△36.4	△16.9	△52.3	41.3
(参考) 前期連結 実績 (C) (2025年5月期)	1,326	1,206	120	260	272	△12
増減額 (B-C)	194	174	20	720	78	642
増減率 (%)	14.6	14.4	16.7	276.9	28.7	-

一方、経費の抑制や予定していた一部の研究開発費の発生が翌期となるなど、販売費及び一般管理費が減少したことから、営業損失は3,800百万円（前回発表予想は3,999百万円の営業損失）、経常損失は3,700百万円（前回発表予想は3,876百万円の経常損失）を見込むこととなりました。

また、当社グループの保有する固定資産について、先行投資による営業赤字の計上が見込まれることから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2026年5月期第1四半期連結会計期間では230百万円（AxelLiner事業において69百万円、AxelGlobe事業において158百万円、その他全社資産において2百万円）、2026年5月期第2四半期連結会計期間では23百万円（主にAxelLiner事業）、2026年5月期第3四半期連結会計期間では37百万円（主にAxelLiner事業）の特別損失を計上しており、親会社株主に帰属する当期純損失は、前回業績予想の3,879百万円から4,000百万円に下方修正する見通しとなりました。

本業績予想修正に関する説明資料につきましては、本日開示いたしました「2026年5月期 第3四半期 決算補足説明資料」をご参照ください。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。予測に関する記述はリスクや不確実性を内包するものであるため、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上